

Akita J Med 48 (Suppl) : 193~198, 2021

中央診療施設等

中 央 検 査 部

部 長	廣 川 誠 (～2 月)								
副 部 長	嵯 峨 知 生								
准 教 授	植 木 重 治								
特任准教授(併)	守 時 由 起								
助 教	小 林 敬 宏 (10 月～)								
技 師 長	小 林 則 子								
副 技 師 長	鎌 田 由 美 子・富 谷 陽 子								
主 任 技 官	平 澤 裕 之・戸 島 洋 子								
	高 橋 智 映・菊 地 優 子								
	達 子 瑠 美・山 本 梨 絵								
技 官	高 崎 貴 海								
	山 内 由 美 子・永 沼 綾 子								
	小 熊 マ リ 子・高 橋 緑								
	齊 藤 由 紀 子・田 村 麗 奈								
	安 保 康 太 郎・田 村 明 日 美								
	鎌 田 尚 未・安 保 綾 奈								
技 術 補 佐 員	長 谷 山 佳 菜・岩 谷 麻 由								
	今 野 裕 子・菊 地 敏 子								
	田 中 美 紀 子・荒 井 杏 子								
	高 屋 の ぶ 子・齋 藤 幸 子								
	藤 井 史 奈・佐 藤 沙 央 理								
	石 山 史 奈・佐 々 木 海								
	宇 佐 美 順 子								
事 務 補 佐 員	船 越 光 子 (～3 月)								
	鎌 田 由 美 子								

総 説・解 説

- 1) 齋藤秀和, 宮部 結, 嵯峨知生, 山田武千代, 植木重治 (2020) ETosis・細胞外トラップ (extracellular traps) と好酸球性炎症. 臨床免疫・アレルギー科 **73**(3), 336-341.
- 2) 宮部 結, 植木重治 (2020) EETs/ETosis.

アレルギー **69**(4), 271-272.

- 3) 宮部 結, 山本洋平, 植木重治 (2020) 好酸球の免疫における役割と消化器疾患. 消化器病学サイエンス **4**(2), 81-85.
- 4) 福地峰世, 古谷千香子, 植木重治 (2020) 注目される Charcot-Leyden 結晶—歴史的背景と最新研究. 臨床免疫・アレルギー科 **74**(4),

394-399.

- 5) 川村善宣, 植木重治, 福地峰世, 宮部 結, 香取幸夫 (2020) 線維素性唾液腺管炎: 好酸球細胞外トラップによる唾液管閉塞の可能性. アレルギーの臨床 **40**(13), 35-39.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Nagase, H., Ueki, S. and Fujieda, S. (2020) The roles of IL-5 and anti-IL-5 treatment in eosinophilic diseases : asthma, eosinophilic granulomatosis with polyangiitis, and eosinophilic chronic rhinosinusitis. *Allergol. Int.*, **69**(2), 178-186.
- 2) Nakagome, K., Shimizu, T., Bochkov, Y.A., Noguchi, T., Kobayashi, T., Soma, T., Ueki, S., Gern, J.E. and Nagata, M. (2020) Cadherin-related family member 3 upregulates the effector functions of eosinophils. *Allergy*, **75**(7), 1805-1809.
- 3) Ueki, S., Mukherjee, M. and Nair, P. (2020) Luminal Eosinophil Cell Death as a Biomarker for Loss of Asthma Control ? *Chest*, **157**(6), 1680-1681.
- 4) Kawamura, Y., Ikeda, R., Hori, T., Sasaki, T., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Sakamoto, K., Ohta, N., Kawase, T., Katori, Y. and Ueki, S. (2020) Sialodochitis Fibrinosa : Salivary Duct Obstruction by Eosinophil Extracellular Traps ? *Oral Dis.*, **26**(7), 1459-1463.
- 5) Melo, N., Wang, H., Silva, T.P., Imoto, Y., Fujieda, S., Fukuchi, M., Miyabe, Y., Hirokawa, M., Ueki, S. and Weller, P.F. (2020) Galectin-10, the protein that forms Charcot-Leyden crystals, is not stored in granules but resides in the peripheral cytoplasm of human eosinophils. *J. Leukoc. Biol.*, **108**(1), 139-149.
- 6) Hamada, S., Ueki, S., Miyabe, Y., Tsukino, M. and Hirai, T. (2020) Focal eosinophilic myositis with Charcot-Leyden crystal formation. *Allergol. Int.*, **69**(4), 633-635.
- 7) Asano, K., Ueki, S., Tamari, M., Imoto, Y., Fujieda, S. and Taniguchi, M. (2020) Adult-onset eosinophilic airway diseases. *Allergy*, **75**(12), 3087-3099.

- 8) Nogawa, H., Suzuki, H., Kawabata, Y., Ota, T., Yuki, Y., Katagiri, Y., Hino, T., Yanagawa, N. and Ueki, S. (2020) An unusual case of eosinophilic lung disease with multiple cyst formation. *Respir. Med. Case Rep.*, **31**, 101300.
- 9) Takeda, M., Ueki, S., Yamamoto, Y., Nara, M., Fukuchi, M., Nakayama, K., Omori, Y., Takahashi, N. and Hirokawa, M. (2020) Hypereosinophilic syndrome with abundant Charcot-Leyden crystals in spleen and lymph nodes. *Asia Pac. Allergy*, **10**(3), e24.
- 10) 長谷川諒, 清水綾乃, 森 奏美, 山下鷹也, 井上 武, 小澤政豊, 茂木睦仁, 植木重治, 廣川 誠, 仁村 隆 (2020) ジアルジア症を契機に診断された, 複数病原体による旅行者下痢症. 秋田県医師会雑誌 **71**(1), 67-72.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. JSA/WAO XXVII World Allergy Congress (WAC2020) conjoint with the APAPARI 2020 Congress, Sep.-Oct., Online
 - 1) Ueki, S. (2020) Eosinophil ETosis-mediated extracellular traps and disease (Symposium)
 - 2) Yamada, T., Miyabe, Y., Saito, H., Fujieda, S. and Ueki, S. (2020) Plasma galectin-10 levels and mucosal eosinophil infiltration in chronic rhinosinusitis
 - 3) Miyabe, Y., Yano, M., Fukuchi, M., Furutani, C., Moritoki, Y., Saga, T., Takahashi, T. and Ueki, S. (2020) Eosinophil extracellular trap formation in chronic granulomatous disease
 - 4) Fukuchi, M., Kamide, Y., Ueki, S., Miyabe, Y., Furutani, C., Moritoki, Y., Saga, A., Saga, T. and Taniguchi, M. (2020) Detection of eosinophil ETosis in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (EGPA) by citrullinated histone H3 immunostaining
 - 5) Hashimoto, T., Ueki, S., Kamide, Y., Miyabe, Y., Yokoyama, Y., Furukawa, T., Azuma, N., Taniguchi, M., Saga, T., Hashiramoto, A. and Matsui, K. (2020) Circulating cell free DNA as a biomarker in Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis

- 6) Fukuchi, M., Kamide, Y., Ueki, S., Miyabe, Y., Konno, Y., Oka, N., Takeuchi, H., Saga, T., Melo, R., Weller, P. and Taniguchi, M. (2020) Loss of cytoplasmic galectin-10 in eosinophil ETosis-mediated cytotoxicity
 - 7) Kamide, Y., Ueki, S., Fukuchi, M., Fujita, N., Iwata, M., Nagayama, K., Nakamura, Y., Yano, K., Watai, K., Hamada, Y., Ryu, K., Hayashi, H., Fukutomi, Y., Sekiya, K., Mori, A. and Taniguchi, M. (2020) Elevated serum levels of galectin-10 in active eosinophilic granulomatosis with polyangiitis
- B. 国内会議**
- (a) 総会・年会**
1. 令和元 (2019) 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1 月, 秋田
 - 1) 植木重治, 小林則子, 嵯峨知生, 大佐賀敦, 廣川 誠 (2020) 細菌検査のデータ共有とネットワークの構築, その課題(シンポジウム)
 - 2) 小林則子, 富谷陽子, 植木重治, 嵯峨知生, 廣川 誠 (2020) イントロダクションにかえて: 検査部の組織横断的業務と貢献 (シンポジウム)
 2. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 8 月, Online
 - 1) 田村明日美, 高橋智映, 戸島洋子, 達子瑠美, 山本梨絵, 長谷山佳菜 (2020) P-MAIVF を合併した大動脈二尖弁の一例
 3. 第 69 回日本医学検査学会, 9 月, 仙台, ハイブリッド開催
 - 1) 菊池優子 (2020) シンポジウム 8: 明日から使える血液検査の精度管理 (正しい検査データを出すために) 血算の精度管理
 4. 第 60 回 日本呼吸器学会学術講演会, 9 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息—Tissue is the issue? (シンポジウム)
 - 2) 植木重治, 福地峰世, 上出庸介, 宮部 結, 竹田正秀, 嵯峨知生, 小代田宗一, 守時由起, 谷口正実, 廣川 誠 (2020) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における好酸球の細胞死とヒストンのシトルリン化
 - 3) 竹田正秀, 坂本 祥, 佐藤一洋, 植木重治, 宮部 結, 佐野正明, 奥田佑道, 浅野真理子, 長谷川幸保, 熊谷奈保, 廣川 誠, 中山勝敏 (2020) 慢性好酸球性肺炎 (CEP) 患者の BALF に観察された好酸球 ETosis
 - 4) 知花和行, 内田信彦, 中村祐介, 正和明哲, 塩原太一, 池田直哉, 堀金紀子, 新井 良, 武政聡浩, 阿久津誠, 金谷洋明, 春名眞一, 植木重治, 布村 聡, 出原賢治, 清水泰生 (2020) 抗 IL-5 治療後に施行された副鼻腔炎手術検体組織の検討
 - 5) 上出庸介, 植木重治, 藤田教寛, 岩田真紀, 永山貴紗子, 中村祐人, 渡井健太郎, 濱田祐斗, 劉 楷, 林 浩昭, 福富友馬, 関谷潔史, 森 晶夫, 福地峰世, 谷口正実 (2020) 血清中 galectin-10 は好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) で高値を示す
5. 第 82 回日本血液学会学術集会, 10 月, Online
 - 1) Kobayashi, T., Fujioka, Y., Nishikawa, H. and Takahashi, N. (2020) Correlation between NK cell activation and clinical response in newly diagnosed multiple myeloma patients treated with Ld therapy
 - 2) Harazaki, Y., Horigome, Y., Iino, M., Kobayashi, T., Handa, H., Hiramatsu, Y., Kiguchi, T., Tanimoto, K., Matsue, K., Soeda, J., Kiga, Y. and Iida, S. (2020) Patient characteristics and cytogenetic data in a multicenter observational study of IRd for RRMM
 6. 第 52 回 日本小児感染症学会総会・学術集会, 11 月, Online (大阪)
 - 1) 吉田美智子, 宮原瑤子, 中川 聡, 森田英明, 植木重治, 宮入 烈 (2020) インフルエンザ関連肺炎型気管支炎における粘液栓形成機構の解明
 7. 第 67 回日本臨床検査医学会学術集会, 11 月, Online (岩手・ハイブリッド開催)
 - 1) 植木重治, 福地峰世, 古谷千香子, 嵯峨知生, 小林則子, 鎌田由美子, 平澤裕之, 山本梨絵, 守時由起 (2020) 細胞外小胞 (Extracellular microvesicles) によるアレルギー性炎症の病態解析とモニタリングへの応用
 - 2) 菊池優子, 永沼綾子, 齊藤由紀子, 荒井杏子, 石山史奈, 小林則子, 植木重治 (2020) 白血球増多 (50 歳代男性)
 - 3) 古谷千香子, 福地峰世, 小林則子, 山本梨絵, 植木重治, 嵯峨知生 (2020) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における血清 galectin-10 の評

(196)

中央診療施設等 中央検査部

価

- 4) 山本梨絵, 平澤裕之, 鎌田由美子, 小林則子, 嵯峨知生, 植木重治 (2020) NT-proBNP 測定試薬の基礎的検討および心不全マーカー BNP との比較検討
- 5) 小林則子, 富谷陽子, 高橋智映, 小林敬宏, 嵯峨知生, 植木重治 (2020) 秋田大学医学部附属病院における臨床検査技師の人材確保の現状と課題
8. 第 29 回国際喘息学会日本・北アジア部会, 12 月, Online (栃木)
- 1) 植木重治 (2020) シェルコー・ライデン結晶から広がる好酸球性炎症の理解 (シンポジウム)

(b) 地方会

1. 第 219 回日本内科学会東北地方会, 2 月, 宮城
- 1) 黒木 航, 小林敬宏, 齋藤雅也, 小林五十鈴, 藤島眞澄, 藤島直仁, 北館明宏, 吉岡智子, 亀岡吉弘, 高橋直人 (2020) 脾破裂による出血性ショックを来した血管内リンパ腫
2. 第 74 回 秋田県感染対策協議会, 6 月, 秋田
- 1) 安保康太郎 (2020) SARS-CoV-2 の概要と検査リテラシーの共有
3. 第 64 回日本呼吸器学会中国・四国地方会
- 1) 植木重治 (2020) 病理から見た好酸球性気道炎症の特徴 (シンポジウム)

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. EOS の部屋 (GSK 重症喘息 Web 講演会), 1 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) IL-5 による好酸球活性化と喘息の病態
2. 第 5 回 CReSS メディカルライティングセミナー, 2 月, 東京
- 1) 植木重治 (2020) 細胞の振る舞いから疾患を理解する: 好酸球性炎症とは?
3. 第 20 回お茶の水眼アレルギー研究会, 2 月, 東京
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球はどこで何をしているか?
4. 第 48 回箱根呼吸討論会, 2 月, 神奈川
- 1) 植木重治 (2020) 呼吸器疾患と Extracellular traps
5. Airway Web, 7 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性喘息—Tissue is

the issue?

6. 基礎と臨床から重症喘息治療を考える会—基礎編—, 8 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症とは何か?—気道疾患でみられる粘液栓の新たなメカニズム—
7. GSK Severe Asthma National Conference in 東京, 11 月, Online (東京)
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球の性質と振る舞い
8. アレルギー・好酸球研究会 2020, 11 月, Online
- 1) 竹田正秀, 坂本 祥, 植木重治, 宮部 結, 福地峰世, 奥田佑道, 浅野真理子, 長谷川幸保, 熊谷奈保, 泉谷有可, 滝田友里, 佐野正明, 佐藤一洋, 中山勝敏 (2020) 慢性好酸球性肺炎患者の気管支肺胞洗浄液における好酸球 ETosis の検討

(ii) 地方規模

1. 大仙仙北重症喘息セミナー, 3 月, 大仙
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のあれこれ
2. Kitakyushu Severe Asthma Conference, 6 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球炎症の要点と最新の知見—重症気管支喘息と粘液栓の新たなメカニズム—
3. 東北 Severe Asthma Symposium, 6 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のダイバーシティ
4. Eos virtual round table, 7 月, Online
- 1) 植木重治 (2020) Eosinophils overview—basic research perspective—
5. 千葉気道アレルギーフォーラム, 9 月, Online (千葉)
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患のダイバーシティ—気道炎症の新しいメカニズム—
6. 喘息 Conference in Okinawa, 9 月, Online (沖縄)
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患の多様性から考える喘息の病態
7. Severe Asthma フォーラム in 湘南, 9 月, Online (神奈川)
- 1) 植木重治 (2020) 新たにわかってきた好酸球性気道炎症の特徴
8. SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING in Niigata 2020, 10 月, Online (新潟)
- 1) 植木重治 (2020) 好酸球おじさんからみた気

道内腔の好酸球と疾患

9. 第 25 回 近畿血栓症研究会, 10 月, Online (大阪)
 - 1) 植木重治 (2020) 顆粒球と細胞外トラップーその理解と病態への関与
10. Morioka Asthma Symposium, 10 月, Online (岩手)
 - 1) 植木重治 (2020) 細胞・病理からみた好酸球性気道炎症の特徴
11. Scientific Exchange Meeting in Kawagoe, 10 月, Online (東京)
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球愛好家からみた好酸球性炎症
12. 第 54 回 兵庫県臨床アレルギー研究会, 10 月, Online (兵庫)
 - 1) 植木重治 (2020) 疾患のダイバーシティから見直す好酸球性炎症
13. IgE Forum in 大曲, 10 月, 秋田
 - 1) 植木重治 (2020) IgE と好酸球性炎症
14. Kawasaki Severe Asthma Symposium 2020, 10 月, Online (神奈川)
 - 1) 植木重治 (2020) (好酸球愛好家からみた) アレルギー性気道炎症の病態
15. SANOFI Asthma Forum 2020 in EAST JAPAN, 11 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息～好酸球活性化までの道のり～
16. Web-Scientific Exchange Meeting in 相模原, 11 月, Online (神奈川)
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性「炎症」の多様性
17. SANOFI Asthma Forum 2020 in EAST JAPAN, 11 月, Online (秋田)
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球と喘息～好酸球活性化までの道のり～
18. 神奈川県重症喘息治療を考える会, 11 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 新たにわかってきた好酸球性気道炎症の特徴
19. SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING in TOKAI 2020, 11 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 細胞から好酸球性炎症の本態に迫る
20. Scientific Exchange Meeting in Nagano, 11 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性炎症疾患の多様性

と面白さ

21. Severe Asthma Teams Seminar in Shimotsuke, 12 月, Online
 - 1) 植木重治 (2020) 細胞・病理からみた好酸球性気道炎症

報 告 書

- 1) 植木重治 (2020) 第 26 回アレルギー週間報告. アレルギー **49**, 27-29.

そ の 他

1. AMR リファレンスセンター 列島縦断 AMR 対策事例紹介シリーズ, 1 月, Web サイト
 - 1) 植木重治, 嵯峨知生, 加賀谷英彰, 佐藤智子, 高橋智映 (2020) 秋田県全体で情報や経験を共有しながら感染対策を推進—第 2 回 AMR 対策普及啓発活動 国民啓発会議議長賞—
2. 幼児・成人好酸球性消化管疾患診療ガイドライン
 - 1) 野村伊知郎, 山田佳之, 厚生労働省好酸球性消化管疾患研究班, 植木重治 他 (2020)
3. m3 ワンポイント医療情報, Web サイト動画
 - 1) 福永興壱, 植木重治 (2020) 好酸球が喘息に悪影響を及ぼすまで～前編
4. m3 ワンポイント医療情報, Web サイト動画
 - 1) 福永興壱, 植木重治 (2020) 好酸球が喘息に悪影響を及ぼすまで～後編
5. 宿題報告 2020 好酸球性副鼻腔炎の病態解明と新たな治療戦略
 - 1) 植木重治 (2020) 好酸球性副鼻腔炎における好酸球の細胞死, 145-151.
6. 本道通信 第 778 号, 10 月, 医学部・附属病院だより
 - 1) 植木重治 (2020) 秋田大学 PCR ラボ, 発足の経緯と現状
7. 工業系支援機関ネットワーク研修会 in 東北, 11 月, Online (宮城)
 - 1) 植木重治 (2020) 秋田県の地域連携における感染症モニタリングシステムの構築と活用
8. Eos Summit (ワークショップ), 11 月, Online (東京)
 - 1) 植木重治 (2020) 疾患と恒常性における好酸球

(198)

中央診療施設等 中央検査部

9. デュピクセント® (喘息) 座談会, 11 月, On-line

1) 植木重治 (2020) 好酸球の炎症 (脱顆粒), 血中の好酸球, IL-4/13 が好酸球に与える影響

10. 秋田異業種交流会 11 月定例会, 11 月, 秋田

1) 植木重治 (2020) 新型コロナウイルス検査体制の充実に向けた「秋田大学 PCR ラボ」の設置について

Akita J Med 48 (Suppl) : 199, 2021

中央診療施設等

中 央 手 術 部

准 教 授 堀 口 剛 (～3 月)
副 部 長 安 部 恭 子 (4 月～)

総 説・解 説

- 1) 安部恭子 (2020) 肺の虚血再灌流障害のメカニズムと予防・治療法. 臨床麻酔 **44**(10), 1343-1348.

T., Satoh, S., Saito, M., Kanda, S., Abe, K., Yamamoto, R., Numakura, K. and Habuchi, T. (2020) Acute kidney injury and its impact on renal prognosis after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy. *J. Med. Robot.*, **16**, 1-7.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Abe, K., Horiguchi, T., Enzan, K., Masaki, Y., Nishikawa, T. and Kimura, T. (2020) Nicorandil, a KATP Channel Opener, Attenuates Ischemia-Reperfusion Injury in Isolated Rat Lungs. *Lung*, **198**, 315-321.
- 2) Sato, H., Koizumi, A., Inoue, T., Narita, S., Nara,

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 42 回日本呼吸療法医学会学術集会, 12 月, 京都
- 1) 今野俊宏, 安部恭子, 新山幸俊 (2020) 成人型大理石骨病患者の緊急手術における気管挿管困難の一例

Akita J Med 48 (Suppl) : 201~202, 2021

中央診療施設等

中 央 放 射 線 部

部 長・教 授	橋 本	学 (併任)
副部長・准教授	高 橋	聡 (～3 月)
	石 山 公	一 (4 月～)
助 教	古 賀	誠
技 師 長	照 井 正	信
副 技 師 長	木 谷 弘	幸・佐々木 斉
主 任	木 谷 口 直	人・櫻 田 喜
	篠 原 俊	晴・吉 田 博
	加 藤 大	樹・虻 川 嘉
技 師	正 斎 藤 一	成・斎 藤 智
	渡 辺 晶	子・伊 藤 美
	佐々木 洋	子・白 坂 直
	戸 嶋 桂	平・渡 邊 未
	柳 本 一	介・佐 藤 昂
	渡 辺 涼	貴・近 野 俊
	大 日 向 美	太・高 橋 優
	池 田 昌	有・伊 藤 正
	斎藤(佐藤) 七	子・関 崎 雄
	斎 藤 将	海・伊 藤 拓
事務系スタッフ	柴 田 淑	子
	鎌 田 由	紀 子 (～3 月)
	高 橋 好	美
	萩 野	桂 (4 月～)

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 令和元年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1 月, 秋田
- 白坂直哉, 加藤大樹, 照井正信 (2020) 造影剤副作用歴をはじめとしたシステム連携

(c) 研究会

(ii) 地方規模

- 令和2年度秋田県診療放射線技師会医療情報研修会, 11 月, 秋田
 - 白坂直哉 (2020) 「CE エビデンス」の活用と課題
- 第 18 回秋田 CT テクノロジーフォーラム, 10 月, 秋田

(202)

中央診療施設等 中央放射線部

- 1) 斎藤将太(2020) 下肢静脈撮影における
DECT の臨床活用について

Akita J Med 48 (Suppl) : 203~204, 2021

中央診療施設等

輸 血 部

部長・教授	高 橋 勉 (併任)
副部長・講師	藤 島 直 仁
臨床検査技師	佐 藤 郁 恵・熊 谷 美 香 子
	佐 々 木 綾 子・能 登 谷 武
事務系補佐員	二 田 理 香 子

著 書

- 1) 藤島直仁 (2020) イノツズマブオゾガマイシン, トレチノイン, タミバロテン, ベキサロテン. 古瀬純司 (編著) がん化学療法の薬はや調べノート 2021・2022 年版. メディカ出版, 大阪.
- 2) 藤島直仁, 廣川 誠 (2020) 赤芽球癆の治療. EBM 血液疾患の治療 2021-2022. 中外医学社, 東京, pp. 60-65.
- 3) 藤島直仁, 廣川 誠 (2020) 赤血球系疾患—赤芽球癆—. 専門医のための血液病学. 医学書院, 東京.

総 説・解 説

- 1) 藤島直仁 (2020) 貧血—最新の薬物治療戦略と実践ポイント—赤芽球癆. 南山堂, 東京, 薬局 **71**, 3131-3135.
- 2) 藤島直仁 (2020) 造血器腫瘍の分子標的治療の最前線—急性リンパ性白血病—. メディカルレビュー社, 大阪, がん分子標的治療 **18**, 27-31.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Uchida, N., Matsumoto, K., Sakura, T., Hidaka, M., Miyamoto, T., Eto, T., Maeda, Y., Murayama,

T., Fujishima, N., Yoshimoto, G., Morita, K., Kishimoto, J., Teshima, T., Taniguchi, S., Yamashita, T., Mori, S., Akashi, K., Harada, M. and Japan Study Group for Cell Therapy, Transplantation (JSCT) (2020) Myeloablative intravenous busulfan-containing regimens for allo-HSCT in AML or MDS patients over 54 years old : combined results of three phase II studies. *Int. J. Hematol.*, **112**, 510-523.

2) Yamada, C., Takeshita, A., Ohto, H., Ishimaru, K., Kawabata, K., Nomaguchi, Y., Haraguchi, Y., Abe, M., Sobue, K., Takenouchi, H., Takadate, J., Kamimura, M., Katai, A., Kasai, D., Minami, Y., Sugimoto, T., Michino, J., Nagai, K., Kumagai, M., Hasegawa, Y., Ishizuka, K., Ohtomo, N., Yamada, N., Muroi, K., Matsushita, T. and Takahashi, K. (2020) A Japanese multi-institutional collaborative study of antigen-positive red blood cell (RBC) transfusions in patients with corresponding RBC antibodies. *Vox Sang.*, **115**, 456-465.

3) 松本真弓, 蒸野寿紀, 松浦秀哲, 西岡純子, 山本由加里, 笹田裕司, 藤島直仁, 松本雅則 (2020) 日本輸血・細胞治療学会の掲載論文と学術総会演題名からみた看護研究の課題 : 出版活動支援小委員会からの提言. 日本輸血細胞治療学会誌 **66**, 590-597.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 33 回日本自己血輸血学会学術総会, 9 月, 広島 (Web 開催)
 - 1) 藤島直仁, 藤原紗恵子, 佐藤郁恵, 熊谷美香子, 能登谷武 (2020) 自己血貯血における保存前白血球除去を用いた全血保存と的手法による分離保存の検討
 - 2) 吉田 斉, 阿部 真, 藤島直仁, 面川 進 (2020) 地域における自己血輸血の概況について
2. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会総会, 5 月, 札幌 (誌上開催)
 - 1) 藤島直仁, 吉田 斉, 國井華子, 寺田 亨, 阿部 真, 佐藤弘美, 上村克子, 小塚源儀, 林崎久美子, 加賀谷聡, 道下吉広, 小笠原仁, 西成民夫, 星野良平, 面川 進 (2020) Choosing Wisely Akita Transfusion Medicine Campaign と開始前の調査
 - 2) 吉田 斉, 國井華子, 寺田 亨, 阿部 真, 佐藤弘美, 上村克子, 小塚源儀, 林崎久美子, 加賀谷聡, 道下吉広, 小笠原仁, 西成民夫, 星野良平, 藤島直仁, 面川 進 (2020) 人免疫グロブリンの使用実態と血漿交換療法の現状について—秋田県合同輸血療法委員会調査より—
 - 3) 佐藤郁恵, 佐々木綾子, 熊谷美香子, 能登谷武, 藤島直仁, 高橋 勉 (2020) 反応増強剤無添加-IAT 陰性の抗 M 抗体で輸血副作用を認めた一例
3. 第 42 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月, 東京 (誌上開催)
 - 1) 郭 永梅, 鎧屋舞子, 山下鷹也, 鶴生川久美, 北舘明宏, 池田 翔, 奈良美保, 藤島眞澄, 藤島直仁, 吉岡智子, 亀岡吉弘, 高橋直人 (2020) 同種移植後 Ietermovir 併用による tacrolimus 薬物動態の変化
 - 2) 奈良美保, 山下鷹也, 郭 永梅, 鶴生川久美, 藤島眞澄, 藤島直仁, 吉岡智子, 亀岡吉弘, 安倍 明, 高橋直人 (2020) 卵巣遮蔽併用全身放射線療法を含む前処置を用いた造血幹細胞移植で健児を得た 31 歳女性
 - 3) 山下鷹也, 渡邊春佳, 黒木 航, 金 陽子,

奈良美保, 藤島直仁, 亀岡吉弘, 齊藤公男, 畠山和利, 松永俊樹, 島田洋一, 高橋直人 (2020) 週 60 分間の全身振動トレーニングによる下肢筋力増加効果

4. 第 82 回日本血液学会学術集会, 10 月, 京都 (Web 開催)
 - 1) 角南一貴, 長藤宏司, 上村智彦, 宮本敏浩, 松本守生, 小川亮介, 村田了一, 瀧澤 淳, 松村 到, 大本英次郎, 半田 寛, 湯尻俊昭, 富永 亮, 高松博幸, 日高道弘, 杉田純一, 藤島直仁, 淵田真一, 高松 泰, 原田実根, 赤司浩一 (2020) 未治療多発性骨髄腫に対する自家造血幹細胞移植の第 2 相試験—JSCT-MM14—
 - 2) 宮本憲一, 福島健太郎, 柴山浩彦, 細野奈穂子, 山内高弘, 片桐誠一朗, 後藤明彦, 森下喬允, 柳田正光, 山本一仁, 藤島直仁, 高橋直人, 小笠原励起, 近藤 健, 宇津欣和, 青墳信之, 白杵憲祐, 小野孝明, 古林 勉, 黒田純也, 堀口拓人, 井山 諭, 福原 傑, 伊豆津宏二, 神原悠輔, 江口基紀, 湯田淳一郎, 山内寛彦, 南 陽介 (2020) 多施設共同観察研究 HM screen Japan 01 の中間解析結果
 - 3) 福島健太郎, 柴山浩彦, 宮本憲一, 細野奈穂子, 山内高弘, 片桐誠一朗, 後藤明彦, 森下喬允, 柳田正光, 山本一仁, 藤島直仁, 高橋直人, 小笠原励起, 近藤 健, 宇津欣和, 青墳信之, 白杵憲祐, 小野孝明, 古林 勉, 黒田純也, 堀口拓人, 井山 諭, 福原 傑, 伊豆津宏二, 神原悠輔, 江口基紀, 湯田淳一郎, 山内寛彦, 南 陽介 (2020) 急性骨髄性白血病における Flt3 変異の重要性: HM-SCREEN 01 試験の中間解析より
 - 4) 北舘明宏, 亀岡吉弘, 山下鷹也, 池田 翔, 奈良美保, 鶴生川久美, 藤島直仁, 吉岡智子, 石山公一, 高橋直人 (2020) TMTV 低値を示す DLBCL において MYC/BCL2 共発現は予後不良因子とならない
 - 5) 郭 永梅, 北舘明宏, 奈良美保, 池田 翔, 鶴生川久美, 藤島眞澄, 藤島直仁, 吉岡智子, 亀岡吉弘, 南 陽介, 高橋直人 (2020) Gilteritinib 投与により同種移植導入と移植後分子的再発に奏効した FLT3-ITD AML

Akita J Med 48 (Suppl) : 205~207, 2021

中央診療施設等

病 理 診 断 科・病 理 部

部長 (併任～3月)・教授	大 森 泰 文
科長・部長 (4月～)	南 條 博
病 院 教 授	
副部長 (4月～)・助教	山 本 洋 平
助 教	廣 嶋 優 子
医 員	伊 藤 行 信 (6月～)
	鈴 木 麻 弥・田 口 歩 美
	宮 部 賢 遥 (～3月)
	畠 山 慧 (4月～)
技 官	小 山 伊 藤 智・鈴 木 世 志 子
	成 田 か す み・三 澤 桃 子
	三 浦 文 仁
技能系補佐員	成 田 律 子
事務系補佐員	鈴 木 恵 美

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Wada, Y., Anbai, A., Takagi, N., Kumagai, S., Okuyama, E., Nanjo, H., Sato, Y., Motoyama, S. and Hashimoto, M. (2020) Outcomes of Definitive Chemoradiotherapy for Stage IVa (T4b vs. N4) Esophageal Squamous Cell Carcinoma Based on the Japanese Classification System : A Retrospective Single-Center Study. *Cancers*, **13** (1), 8. doi : 10.3390/cancers13010008.
- 2) Watanabe, SN., Nanjo, H., Wakamatsu, Y., Kimura, Y., Katayose, Y., Kamata, S., Terada, K., Takahashi, E., Ibonai, A., Yamaguchi, A., Konno, H., Yatsuyanagi, M., Kudo, C., Takashima, S., Akagami, Y., Nakamura, R., Sato, Y., Motoyama, S., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2020) Rapid HER2 cytologic fluorescence in situ hybridization for breast cancer using noncontact alternating current electric field mixing. *Cancer medicine*, doi : 10.1002/cam4.3626.
- 3) Ono, Reinhardt A., Takahashi, M., Nanjo, H., Kamataki, A., Deimling, A. and Shimizu, H. (2020) Comparative molecular analysis of primary and recurrent oligodendroglioma that acquired imbalanced 1p/19q codeletion and TP53 mutation : a case report. *Acta Neurochirurgica.*, doi : 10.1007/s00701-020-04514-3.
- 4) Numakura, K., Kobayashi, M., Muto, Y., Sekine, Y., Takahashi, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S., Nanjyo, H. and Habuchi, T. (2020) First-line axitinib therapy is less effective in metastatic renal cell carcinoma with spindle histology. *Scientific reports*, doi : 10.1038/s41598-020-77135-6.
- 5) Kito, M., Maeda, D., Kudo-Asabe, Y., Tamura, D.,

- Makino, K., Sageshima, M., Nanjo, H., Terada, Y. and Goto, A. (2020) Detection of MED12 Mutations in Mesenchymal Components of Uterine Adenomyomas. Accepted 23 November 2020, *Human Pathology*, doi : 10.1016/j.humpath.2020.11.013.
- 6) Imai, K., Takashima, S., Fujishima, S., Matsuo, T., Watanabe, S.N., Nanjo, H., Akagami, Y., Nakamura, R., Terata, K., Wakita, A., Sato, Y., Motoyama, S. and Minamiya, Y. (2020) Development of a Novel One-Step Automated Rapid in situ Hybridization for Anaplastic Lymphoma Kinase Rearrangement Using Non-Contact. Alternating-Current Electric-Field Mixing. *Pathobiology*, doi : 10.1159/000505631.
 - 7) Imai, K., Nanjo, H., Takashima, S., Hiroshima, Y., Atari, M., Matsuo, T., Kuriyama, S., Ishi, Y., Wakamatsu, Y., Sato, Y., Motoyama, S., Saito, H., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2020) Intraoperative diagnosis of lymph node metastasis during segmentectomy for non-small cell lung cancer by rapid immunohistochemistry using noncontact alternating current electric field mixing. *Thoracic cancer*, doi : 10.1111/1759-7714.13699.
 - 8) Takano, H., Fukuda, M., Hatakeyama, S., Konno, Y., Yamazaki, M., Igarashi, H., Nanjo, H., Nagao, T. and Yoshioka, T. (2020) A case of secretory carcinoma of the minor salivary gland in the buccal mucosa. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery Medicine and Pathology*, available online. <https://doi:10.1016/j.ajoms.2020.08.009>.
 - 9) Koyama, K., Maeda, D., Kito, M., Tamura, D., Kudo-Asabe, Y., Kato, H., Ishikawa, S., Nanjo, H., Terada, Y. and Goto, A. (2020) Clinicopathological and molecular analyses of linearly expanded epithelial cells with b-catenin alterations, “b-catenin signature”, in the normal fallopian tube. *Histopathology*, **77**, 880-889. doi : 10.1111/his.14227.
 - 10) Kimura, K., Shimazu, K., Toki, T., Misawa, M., Fukuda, K., Yoshida, T., Taguchi, D., Fukuda, S., Iijima, K., Takahashi, N., Ito, E., Nanjo, H. and Shibata, H. (2020) Outcome of colorectal cancer in Diamond-Blackfan syndrome with a ribosomal protein S19 mutation. *Clin. J. Gastroenterol.*, **13**, 1173-1177. doi : 10.1007/s12328-020-01176-7.
 - 11) Takahashi, S., Shimazu, K., Kodama, K., Fukuda, K., Yoshida, T., Taguchi, D. and Takahashi, T. (2020) Lung adenocarcinoma in a patient with Li-Fraumeni syndrome bearing a novel germ-line mutation germ-line mutation, TP53R333Vfs 12. *Japan. J. Clin. Oncol.*, **50**(10), 1214-1217. doi : 10.1093/jco/hyaa095.
 - 12) Furuya, M., Iribe, Y., Nagashima, Y., Kambe, N., Ohe, C., Kinoshita, H., Sato, C., Kishida, T., Okubo, Y., Numakura, K., Nanjo, H., Nakaigawa, N., Makiya, K., Hasumi, H., Iwashita, H., Ohta, J., Kitamura, H., Nakajima, T., Yoshida, T., Nakagawa, M., Tanaka, R. and Yao, M. (2020) Clinicopathological and molecular features of hereditary leiomyomatosis and renal cell cancer-associated renal cell carcinomas. *J. Clin. Pathol.*, **73**(12), doi : 10.1136/jclinpath-2020-206548.
 - 13) Nagaki, Y., Motoyama, S., Yamaguchi, T., Hoshizaki, M., Sato, Y., Sato, T., Koizumi, Y., Wakita, A., Kawakita, Y., Imai, K., Nanjo, H., Watanabe, H., Imai, Y., Minamiya, Y. and Kuba, K. (2020) m⁶A demethylase ALKBH5 promotes proliferation of esophageal squamous cell carcinoma associated with poor prognosis. *Genes to cells*, **25**(8), doi : 10.1111/gtc.12792.
 - 14) Matsuda, Y., Narita, S., Nara, T., Mingguo, H., Sato, H., Koizumi, A., Kanda, S., Numakura, K., Saito, M., Inoue, T., Hiroshima, Y., Nanjo, H., Satoh, S., Tsuchiya, N. and Habuchi, T. (2020) Impact of YAP1 expression in residual cancer after neoadjuvant chemohormonal therapy with docetaxel for high-risk localized prostate cancer. *BMC Cancer*, **20**, 302. doi : 10.1186/s12885-020-06844-y.
 - 15) Sato, Y., Motoyama, S., Wakita, A., Kawakita, Y., Liu, J., Nagaki, Y., Nanjo, H., Ito, S., Terata, K., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) High TLR4 expression predicts a poor prognosis after esophagectomy for advanced thoracic esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus.*, **17**, 408-416. doi : 10.1007/s10388-020-00732-x.
 - 16) Shimodaira, Y., Sugawara, K., Fukuda, S., Suzuki, Y., Watanabe, N., Koizumi, S., Ohba, R., Hiroshi-

- ma, Y., Matsuhashi, T., Nanjo, H. and Iijima, K. (2020) Aggressive Inflammatory Myofibroblastic Tumor without Anaplastic Lymphoma Kinase Gene Rearrangement in the Rectum with Liver Metastasis. *Intern. Med.*, **59**, 495-499. doi: 10.2169/internalmedicine.3686-19.
- 17) Yamamoto, Y., Nishijima-Matsunobu, A., Hiroshima, Y., Enomoto, K., Inoue, M., Muto, O., Suzuki, M., Nanjo, H., Shibata, H. and Omori, Y. (2020) Two autopsy cases of desmoplastic small round cell tumor. *Pathol. Int.*, **70**, 171-178. doi: 10.1111/pin.12897.
- 18) Nagasawa, H., Okada, K., Miyakoshi, N., Tsuchie, H., Nanjo, H. and Shimada, Y. (2020) De Novo Granulocytic Sarcoma of the Humerus in an 82-Year-Old Woman : A Case Report. *J. Med. Cases*, **11** (8), 249-252. doi: 10.14740/jmc3526.
- 19) Ono, Y., Miyakoshi, N., Tsuchie, H., Nagasawa, H., Nanjo, H. and Shimada, Y. (2020) Pigmented Villonodular Synovitis Around the Elbow Joint That Required Upper Arm Amputation. *J. Med. Cases*, **11** (7), 201-203. doi: 10.14740/jmc3503.
- 20) 三浦文仁, 成田かすみ, 伊藤 智, 廣嶋優子, 南條 博 (2020) 当院における LBC 法尿細胞診の異型細胞症例の検討. 田県臨床細胞学会雑誌 **26**, 1-15, ISSN 2189-0196.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 109 回日本病理学会総会, 7 月, 福岡, web 開催
 - 1) 南條 博, 廣嶋優子, 伊藤 智, 寺田かおり, 中村竜太, 今井一博, 赤上陽一, 南谷佳弘 (2020) R-IHC のさらなる標準化に向けて—病理医の立場から
 - 2) 廣嶋優子, 山本洋平, 南條 博 (2020) 膠腫の術中病理診断における迅速免疫染色 (R-IHC) の現状
 - 3) 吉田 誠, 伊藤行信, 馬越通信, 宮部 賢, 浅部幸紹, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2020) 高度の右左シャントをともなう肺毛細血管拡張を呈した一剖検例
 - 4) 伊藤行信, 吉田 誠, 工藤-浅部幸紹, 宮部 賢, 馬越通信, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2020) ウサギ AVM モデルにおける遺伝子発現解析とヒト脳 AVM 標本との相関
 - 5) 中村暁子, 馬越通信, 浅部幸紹, 伊藤行信, 吉田 誠, 前田大地, 南條 博, 後藤明輝 (2020) 軟部肉腫における腫瘍随伴マクロファージ浸潤の臨床病理的意義
2. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 11 月, 横浜, web 開催
 - 1) 伊藤 智, 三浦桃子, 三浦文仁, 成田かすみ, 廣嶋優子, 南條 博 (2020) 低異型度尿路上皮癌における細胞形態学的分析 —良悪性判定追求の試み—
 - 2) 三浦桃子, 三浦文仁, 成田かすみ, 伊藤 智, 廣嶋優子, 南條 博 (2020) 当院の過去 10 年間の胆汁細胞診の再検討

Akita J Med 48 (Suppl) : 209~213, 2021

中央診療施設等

腫瘍情報センター

センター長	本	山	悟（地域がん医療学講座 教授）
副センター長	小	泉	重 仁（消化器内科学・神経内科学講座 講師）
専門職員	吉	田	めぐみ・斎 藤 恵 理 香
	吉	田	美 穂 子

総説・解説

- 1) 本山 悟, 森井真也子 (2020) 食道「食道の良性疾患」食道の構造異常. 日本消化器外科学会 公式テキスト「消化器外科専門医の心得」, 190-194.
- 2) 小泉重仁, 飯島克則 (2020) 「Barrett 食道, 食道癌一発癌リスクの高い Barrett 食道の見分け方」. 消化器内科 1・2, 49-56.
- 3) 小泉重仁, 飯島克則 (2020) 『今日の疾患辞典』 デジタル版 [Current Decision Support (CDS)] ヘリコバクター・ピロリ感染症.
- 3) Motoyama, S., Maeda, E., Iijima, K., Sato, Y., Koizumi, S., Wakita, A., Nagaki, Y., Fujita, H., Yoneya, T., Imai, K., Terata, K., Minamiya, Y. and Higashi, T. (2020) Does Esophagectomy Provide a Survival Advantage to Patients Aged 80 Years or Older? Analyzing 5,066 Patients in the National Database of Hospital-Based Cancer Registries in Japan. *Ann. Surg.*, doi: 10.1097/SLA.0000000000004437. Online ahead of print.
- 4) Motoyama, S., Yamamoto, H., Miyata, H., Yano, M., Yasuda, T., Ohira, M., Kajiyama, Y., Toh, Y., Watanabe, M., Kakeji, Y., Seto, Y., Doki, Y. and Matsubara, H. (2020) Impact of certification status of the institute and surgeon on short-term outcomes after surgery for thoracic esophageal cancer : evaluation using data on 16,752 patients from the National Clinical Database in Japan. *Esophagus*, **17**, 41-49.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Motoyama, S., Sato, Y., Wakita, A., Nagaki, Y., Fujita, H., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Approaches to resection of recurrent solitary mediastinal lymph nodes after esophagectomy. *Esophagus*. doi: 10.1007/s10388-020-00800-2. Epub 2020 Nov 20.
- 2) Motoyama, S., Maeda, E., Yano, M., Yasuda, T., Ohira, M., Kajiyama, Y., Higashi, T., Doki, Y. and Matsubara, H. (2020) Esophagectomy performed at institutes certified by the Japan Esophageal Society provide long-term survival advantages to esophageal cancer patients : second report analyzing 4897 cases with propensity score matching. *Esophagus*, **17**, 141-148.
- 5) Imai, K., Takashima, S., Fujishima, S., Matsuo, T., Watanabe, S.N., Nanjo, H., Akagami, Y., Nakamura, R., Terata, K., Wakita, A., Sato, Y., Motoyama, S. and Minamiya, Y. (2020) Development of a Novel One-Step Automated Rapid in situ Hybridization for Anaplastic Lymphoma Kinase Rearrangement Using Non-Contact Alternating-Current Electric-Field Mixing. *Pathobiology*, **87**, 45-50.
- 6) Imai, K., Nanjo, H., Takashima, S., Hiroshima, Y., Atari, M., Matsuo, T., Kuriyama, S., Ishii, Y., Wakamatsu, Y., Sato, Y., Motoyama, S., Saito, H.,

- Nomura, K. and Minamiya, Y. (2020) Intraoperative diagnosis of lymph node metastasis during segmentectomy for non-small cell lung cancer by rapid immunohistochemistry using noncontact alternating current electric field mixing. *Thorac. Cancer*, **11**, 3547-3554.
- 7) Sato, Y., Motoyama, S., Wakita, A., Kawakita, Y., Nagaki, Y., Terata, K., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Comparison of the incidences of anastomotic leakage when PDSII or LACLON are used in esophago-gastric conduit handsewn anastomosis after esophagectomy. *Sci. Rep.*, **10**, 15616.
 - 8) Sato, Y., Motoyama, S., Wakita, A., Kawakita, Y., Liu, J., Nagaki, Y., Nanjo, H., Ito, S., Terata, K., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) High TLR4 expression predicts a poor prognosis after esophagectomy for advanced thoracic esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus*, **17**, 408-416.
 - 9) Terata, K., Yamaguchi, A., Ibonai, A., Imai, K., Wakita, A., Sato, Y., Motoyama, S. and Minamiya, Y. (2020) Loco-regional therapy for isolated locoregional lymph node recurrence of breast cancer : focusing on surgical treatment with combined therapy. *Transl. Cancer Res.*, **9**, 5038-5043.
 - 10) Terata, K., Imai, K., Wakita, A., Sato, Y., Motoyama, S. and Minamiya, Y. (2020) Surgical therapy for breast cancer liver metastases. *Transl. Cancer Res.*, **9**, 5053-5062.
 - 11) Takashima, S., Imai, K., Atari, M., Matsuo, T., Nakayama, K., Sato, Y., Motoyama, S., Shibata, H., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2020) Clinical benefits of adjuvant chemotherapy with carboplatin and gemcitabine in patients with non-small cell lung cancer : a single-center retrospective study. *World J. Surg. Oncol.*, **18**, 263.
 - 12) Wakita, A., Motoyama, S., Sato, Y., Kawakita, Y., Nagaki, Y., Terata, K., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Evaluation of metastatic lymph nodes in cN0 thoracic esophageal cancer patients with inconsistent pathological lymph node diagnosis. *World J. Surg. Oncol.*, **18**, 111.
 - 13) Kawakita, Y., Motoyama, S., Sato, Y., Wakita, A., Nagaki, Y., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Decreases in the Psoas Muscle Index Correlate More Strongly with Survival than Other Prognostic Markers in Esophageal Cancer After Neoadjuvant Chemoradiotherapy Plus Esophagectomy. *World J. Surg.*, **44**, 1559-1568.
 - 14) Kawakita, Y., Motoyama, S., Sato, Y., Wakita, A., Nagaki, Y., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Prognostic Significance of Combined Platelet Distribution Width and C-Reactive Protein Score in Esophageal Cancer. *Anticancer Res.*, **40**, 5715-5725.
 - 15) Nagaki, Y., Motoyama, S., Yamaguchi, T., Hoshizaki, M., Sato, Y., Sato, T., Koizumi, Y., Wakita, A., Kawakita, Y., Imai, K., Nanjo, H., Watanabe, H., Imai, Y., Minamiya, Y. and Kuba, K. (2020) m⁶A demethylase ALKBH5 promotes proliferation of esophageal squamous cell carcinoma associated with poor prognosis. *Genes Cells*, **25**, 547-561.
 - 16) Watanabe, S.N., Imai, K., Nanjo, H., Wakamatsu, Y., Kimura, Y., Katayose, Y., Kamata, S., Terata, K., Takahashi, E., Ibonai, A., Yamaguchi, A., Konno, H., Yatsuyanagi, M., Kudo, C., Takashima, S., Akagami, Y., Nakamura, R., Sato, Y., Motoyama, S., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2020) Rapid HER2 cytologic fluorescence in situ hybridization for breast cancer using non-contact alternating current electric field mixing. *Cancer Med.*, **10**, 586-594.
 - 17) Koizumi, S., Wakita, A., Matsuhashi, M., Ohba, R., Watanabe, N., Shimodaira, Y., Suzuki, Y., Fukuda, S., Watanabe, K., Takahashi, S., Motoyama, S. and Iijima, K. (2020) Study on expansion of indication of endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma ; from the investigation of the cases who underwent additional esophagectomy after non-curative ESD. *Gastroenterology*, **158**, S845.
 - 18) Liu, J., Motoyama, S., Sato, Y., Wakita, A., Kawakita, Y., Nagaki, Y., Fujita, H., Imai, K. and Minamiya, Y. (2020) Trends in the evolution to robot-assisted minimally invasive thoracoscopic esophagectomy. *Mini-invasive Surg.*, **4**, 44.
 - 19) Baba, H., Kanda, M., Sato, Y., Sawaki, K., Shi-

- mizu, D., Koike, M., Motoyama, S., Kodera, Y. and Fujii, T. (2020) Expression and malignant potential of B4GALNT4 in esophageal squamous cell carcinoma. *Ann. Surg. Oncol.*, **27**, 3247-3256.
- 20) Minato, T., Nirasawa, S., Sato, T., Yamaguchi, T., Hoshizaki, M., Inagaki, T., Nakahara, K., Yoshihashi, T., Ozawa, R., Yokota, S., Natsui, M., Koyota, S., Yoshiya, T., Yoshizawa-Kumagaye, K., Motoyama, S., Gotoh, T., Nakaoka, Y., Penninger, J.M., Watanabe, H., Imai, Y., Takahashi, S. and Kuba, K. (2020) B38-CAP is a bacteria-derived ACE2-like enzyme that suppresses hypertension and cardiac dysfunction. *Nat. Commun.*, **11**, 1058.
- 21) Ueda, S., Kanda, M., Sato, Y., Baba, H., Nakamura, S., Sawaki, K., Shimizu, D., Motoyama, S., Fujii, T., Kodera, Y. and Nomoto, S. (2020) Chromobox 2 Expression Predicts Prognosis After Curative Resection of Oesophageal Squamous Cell Carcinoma. *Cancer Genomics Proteomics*, **17**, 391-400.
- 22) 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 長岐雄志, 藤田 啓 (2020) 胸腔内食道-胃管吻合 食道胃接合部癌に対するロボット支援胸腔鏡下手術. *臨床外科* **75**, 116-120.
- 23) 本山 悟, 佐藤雄亮 (2020) 手術の tips and pitfalls: 側臥位の立場から. *日外会誌* **121**, 639-642.
- 24) 本山 悟 (2020) 秋田で行う進行食道癌に対する最新治療. *秋田県医師会雑誌* **70**, 1-6.
- 京 (WEB 開催)
- 1) 脇田晃行, 本山 悟, 佐藤雄亮, 川北雄太, 長岐雄志, 中津敏允, 南谷佳弘 (2020) cT1 (MM-SM1 カテゴリー) N0M0 食道癌に対する ESD 後の追加治療としての食道切除再建術の妥当性
- 2) 栗原伸泰, 今井一博, 南條 博, 中村竜太, 若松由貴, 赤上功治, 寺田かおり, 脇田晃行, 佐藤雄亮, 本山 悟, 赤上陽一, 南谷佳弘 (2020) 電界非接触攪拌技術を応用した HER2 In situ hybridization DNA プローブ希釈に関する検討
- 3) 長岐雄志, 本山 悟, 山口智和, 星崎みどり, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 川北雄太, 南條 博, 南谷佳弘, 久場敬司 (2020) m⁶A 脱メチル化酵素 ALKBH5 は食道扁平上皮癌の細胞増殖を促進する予後不良因子である
- 4) 宇佐美修悦, 本山 悟, 小嶋一幸, 山本聖一郎, 小林宏寿, 中津敏允, 神谷 彰, 南谷佳弘 (2020) 医師不足が顕著な地域でのハイレベル腹腔鏡手術の導入とその成果
- 5) 宇野泰朗, 神田光郎, 佐藤雄亮, 清水 大, 梅田晋一, 服部憲史, 林 真路, 田中千恵, 小林大介, 山田 豪, 中山吾郎, 小池聖彦, 本山 悟, 小寺泰弘 (2020) 食道扁平上皮癌における MAGE-D4 蛋白の発現, 機能, 予後の検討
2. 第 79 回日本癌学会学術総会, 10 月, 広島 (WEB 開催)
- 1) Sawaki, K., Kanda, M., Sato, Y., Shimizu, D., Uno, Y., Umeda, S., Hattori, N., Hayashi, M., Tanaka, C., Yamada, S., Nakayama, G., Motoyama, S., Koike, M., Fujiwara, M. and Kodera, Y. (2020) Function and prognostic value of melanoma-associated antigen-D4 protein in esophageal squamous cell carcinoma
3. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 10 月, 京都
- 1) 佐藤雄亮, 本山 悟, 脇田晃行, 長岐雄志, 藤田 啓, 米屋崇峻, 南谷佳弘 (2020) TLR4 高発現は進行食道扁平上皮癌の予後不良予測因子である
- 2) 上田 整, 神田光郎, 佐藤雄亮, 馬場逸人, 中村俊介, 澤木康一, 清水 大, 本山 悟, 藤井 努, 小寺泰弘, 野本周嗣 (2020) 食道扁平上皮癌における Chromobox2 発現の予後

学 会 発 表

A. 国際会議

1. Digestive Disease Week (DDW) 2020, May, Chicago, Illinois (開催中止)
- 1) Koizumi, S. (2020) Study on expansion of indication of endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma; from the investigation of the cases who underwent additional esophagectomy after non-curative ESD

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 8 月, 東

予測バイオマーカーとしての有用性

4. 第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会, 10 月, 名古屋 (WEB 開催)

- 1) 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 長岐雄志, 藤田 啓, 佐々木吉寛, 南谷佳弘 (2020) パネルディスカッション: 高齢者食道癌に対する食道切除は化学放射線治療を上回る予後をもたらすことが可能か?—院内がん登録 5,066 例を用いた解析—
- 2) 本山 悟 (2020) 基本手技評価と総合評価
- 3) 脇田晃行, 本山 悟, 佐藤雄亮, 長岐雄志, 藤田 啓, 南谷佳弘 (2020) 食道癌術後縦隔リンパ節再発に対する治療戦略

5. 第 28 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2020KO-BE), 11 月, 神戸

- 1) 本山 悟 (2020) 特別講演: ニボルマブが変える食道癌薬物治療戦略
- 2) Wakita, A. and Motoyama, S. (2020) Symposium: Therapeutic results of robot-assisted surgery for esophageal cancer and esophagogastric junction cancer
- 3) 川北雄太, 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 長岐雄志, 南谷佳弘 (2020) 食道癌における新規予後予測指標の開発—COPC スコアの有用性の検討—
- 4) 吉岡政人, 高橋智和, 打波 宇, 中川康彦, 大塚直彦, 本山 悟, 山本雄造 (2020) ラット肝虚血再灌流障害における肝星細胞の役割

6. 第 74 回日本食道学会学術集会, 12 月, 徳島

- 1) 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 長岐雄志, 藤田 啓, 米谷崇峻, 南谷佳弘 (2020) 特別企画: 我が国における術前化学放射線療法の位置づけ—現状と将来展望—
- 2) 佐藤雄亮, 本山 悟, 脇田晃行, 川北雄太, 長岐雄志, 藤田 啓, 米屋崇峻, 南谷佳弘 (2020) ビデオシンポジウム: The results of usage of LACLON for esophago-gastric tube hand sawn anastomosis (合併症回避のための術式の工夫 食道-胃管手縫い吻合での LACLON 使用成績)
- 3) 脇田晃行, 本山 悟, 佐藤雄亮, 川北雄太, 長岐雄志, 南谷佳弘 (2020) cMM/SM1 食道癌に対する治療成績 ESD のみで完遂できる症例をどう見極めるか
- 4) 長岐雄志, 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行,

川北雄太, 南谷佳弘 (2020) 術前 CRT+手術を施行した食道扁平上皮癌症例の CRT Grade 別の治療成績の検討

7. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 12 月, 和歌山

- 1) 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 長岐雄志, 藤田 啓, 米谷崇峻, 南谷佳弘 (2020) 進行食道癌に対するロボット支援手術の中長期成績
- 2) 佐藤雄亮, 本山 悟, 脇田晃行, 川北雄太, 長岐雄志, 藤田 啓, 米屋崇峻, 南谷佳弘 (2020) シンポジウム: cStage II, III 食道扁平上皮癌患者 148 症例に対する術前化学放射線療法+手術の成績とロボット支援手術の適合
- 3) 脇田晃行, 本山 悟, 佐藤雄亮, 川北雄太, 長岐雄志, 南谷佳弘 (2020) 食道胃接合部癌に対する経胸の下縦隔リンパ節郭清の妥当性
- 4) 藤田 啓, 田中淳一, 本山 悟 (2020) 巨大複合型食道裂孔ヘルニアを腹腔鏡手術にて治療せしめた 1 例
- 5) 笹森凌平, 本山 悟, 佐藤雄亮 (2020) 食道胃接合部癌に対して完全ロボット支援手術を行った 1 例
- 6) 林健次郎, 佐藤雄亮, 本山 悟 (2020) 食道アカラシア術後約 45 年で特発性食道破裂を来した一例

(b) 地方会

1. 第 208 回日本消化器病学会東北支部例会・第 164 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会・第 17 回 専門医セミナー, 1 月, 仙台
- 1) 小泉重仁 (2020) 消化器疾患観血的処置の合併症とその対策
- 2) 鈴木優響, 下平陽介, 小泉重仁, 松橋 保, 飯島克則 (2020) シンポジウム: 「消化器疾患観血的処置の合併症とその対策」消化管
- 3) 渡邊健太, 飯島克則, 青川正樹, 高橋 壮, 福田 翔, 鈴木優響, 渡部 昇, 大場麗奈, 小泉重仁, 松橋 保 (2020) 当院で ESD を施行した早期胃癌の発生部位に関する検討

その他 講演, セミナー

1. オブジーボ WEB ライブセミナー, 6 月

- 1) 本山 悟 (2020) ニボルマブが変える食道癌薬物治療戦略

2. 第5回東北腫瘍免疫シンポジウム, 10月, 仙台
(WEB 配信)
 - 1) 本山 悟 (2020) ニボルマブによる食道癌手術適応の拡大腫瘍内科医からみて是か否か?
3. 秋田朝日放送「知りたい!がん検診 (第512～515回)」, 9月, 秋田
 - 1) 小泉重仁 (2020) 胃癌について～変化～
4. 秋田食道癌研究会 Web セミナー, 10月, 秋田
(WEB 配信)
 - 1) 本山 悟 (2020) 進行食道癌に対する集学的治療～ニボルマブ適用による治療戦略の変化～
5. 秋田県病院薬剤師会学術講演会, 11月, 秋田
(WEB 開催)
 - 1) 小泉重仁 (2020) 上部消化管疾患に関する最近の話題 ～消化性潰瘍診療ガイドライン 2020 もふまえて～

Akita J Med 48 (Suppl) : 215~216, 2021

中央診療施設等

緩和ケアセンター

センター長	安藤秀明
副センター長	杉本侑孝・石川栄子
委員	吉田泰一・平野梨聖
	尾関智子・五十嵐遥
	小林禎子・今野麻衣子
	三浦京子・遠藤絵里
	阿部愛香 (2021年3月31日まで)
	加賀谷晶子・若松麻衣子
	田村悟・小川江美
	平元守之・大川真之介
事務系補佐員	山本梨絵

著書

- 1) 杉本侑孝, 田上恵太 (2020) 2章 こんなとき, こんなシチュエーションでは, 何をどう投与する? 1 オピオイドが聞きにくいときは? (難治性疼痛) ④ 腹部膨満感関連痛. 倉田宝保 (監), 蓮尾英明 (編) がん治療医が本当に知りたかった緩和ケアのレシピ. メジカルレビュー社, 東京, pp. 126-129.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) 安藤秀明, 利 緑, 吉岡政人 (2020) 講義形式授業科目において時間外学修を担保する工夫. 医学教育 **51** (Suppl.), 89.
- 2) Makabe, S., Kume, Y., Kamata, T., Apikomonkon, H., Griffiths, J., Takagai, J., Akagawa, Y., Andoh, H., Ito, T. and Singha-dong, N. (2020) Health Promotion Awareness in Barbershops and Salons: An International Cross-Sectional Survey in Japan and Thailand. *J. Community Health*, **45**

(4), 768-774.

- 3) Hirakawa, Y., Chiang, C., Muraya, T., Andoh, H. and Aoyama, A. (2020) Interprofessional case conferences to bridge perception gaps regarding ethical dilemmas in home-based end-of-life care: a qualitative study. *J. Rural Med.*, **15** (3), 104-115.
- 4) 赤川祐子, 眞壁幸子, 伊藤登茂子, 安藤秀明 (2020) がん治療中の親が子どもとの関わりにおいて抱く困難と希望～親の語りに焦点を当てて～. 日本看護学会論文集ヘルスプロモーション **50**, 147-150.
- 5) 赤川祐子, 眞壁幸子, 伊藤登茂子, 今野麻衣子, 三浦京子, 白川秀子, 安藤秀明 (2020) 秋田県におけるがんになった親をもつ子どもへの支援に対する看護師の現状. *Palliative Care Research* **15** (3), 221-226.
- 6) Takashi, S., Masaru, S., Chiaki, H., Tomoyasu, K., Yuko, S., Yoshiaki, I., Yoshikazu, T., Satoru, M., Gen, A., Akira, S., Tsukasa, K., Takayuki, Y. and Syusaku, N. (2020) Characteristics of Emergency Patients in Northern Akita City and Clini-

(216)

中央診療施設等 緩和ケアセンター

cal Features of Elderly Patients with Heart Failure. *J. Rural Med.*, **69**(2), 126-136.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 23rd East Asia Forum of Nursing Scholars, January, Chiang Mai, Thailand
- 1) Akagawa, Y., Kataoka, A., Makabe, S., Ito, T. and Andoh, H. (2020) Challenge in which parents having cancer tell their children about their cancer : literature review
2. The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, February, Osaka, Japan
- 1) Kaga, M., Yoshioka, M., Munemura, N., Akagawa, Y., Fukuda, H. and Andoh, H. (2020) Maintenance of cardiopulmonary resuscitation skills in nursing students
- 2) Akagawa, Y., Osawa, K., Makabe, S., Ito, T., Andoh, H. and Heiney, S.P. (2020) Effects of a support program for the parents with cancer diagnosis and their children ~CLIMB® program~

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 52 回日本医学教育学会大会, 7 月, Web 開

催

- 1) 安藤秀明, 利 緑, 吉岡政人 (2020) 講義形式授業科目において時間外学修を担保する工夫
2. 第 6 回日本混合研究法学会年次大会, 10 月, Web 開催
- 1) Akagawa, Y., Suda, T., Ito, T., Andoh, H. and Makabe, S. (2020) The experience of elementary school staff's and the effectiveness of an intervention to support children with parental cancer : A convergent separated mixed methods systematic review protocol
3. 第 40 回日本看護科学学会学術集会, 12 月, Web 開催
- 1) 安藤秀明 (2020) 高度実践看護師の役割拡大の現状と解決すべき課題
- 2) Akagawa, Y., Makabe, S., Ito, T. and Andoh, H. (2020) Challenge and hope for parents who have cancer, final report
- (c) 研究会
- (ii) 地方規模
1. 高齢者ヘルスケアシステムとアドバンス・ケア・プランニングについて考えるワークショップ, 2 月, 仙北市
- 1) 安藤秀明 (2020) 日本・秋田における地域包括ケアシステム

Akita J Med 48 (Suppl) : 217, 2021

中央診療施設等

医 療 情 報 部

部 長(兼)	島 田 洋 一(教授)
副 部 長(兼)	大 佐 賀 敦(助教)
事務職員(兼)	佐 川 静 子・大 場 浩 明
	長 山 晶 子・三 浦 育 子
事務補佐員(兼)	小 田 嶋 梓・佐 藤 信 一

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 令和元年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1月, 秋田
- 大佐賀敦(2020) 病院情報システムの導入・運用管理における課題や悩み
- 佐川静子, 大場浩明, 櫻庭和弥, 小田嶋梓, 佐藤信一, 小林彰子, 三浦育子, 大佐賀敦, 島田洋一, 伊藤 昇(2020) 問合せ対応管理システムにおける対応遅延アラートの効果～病院情報システムの持続的な発展に資する管理運用体制強化のために～
- 櫻庭和弥, 佐川静子, 大場浩明, 小田嶋梓, 佐藤信一, 小林彰子, 三浦育子, 大佐賀敦, 島田洋一(2020) DPC 導入の影響評価に係

る調査における初回提出後のデータチェック
確認事項削減の取り組み

- 白坂直哉, 加藤大樹, 照井正信, 橋本 学, 大佐賀敦(2020) 造影剤副作用歴をはじめとしたシステム連携
- 植木重治, 小林則子, 嵯峨知生, 大佐賀敦, 廣川 誠(2020) 細菌検査のデータ共有とネットワークの構築, その課題

(c) 研究会

(i) 全国規模

- 第7回日本医療情報学会東北支部会医療情報研修会・日本医療情報学会 COVID-19 関連タスクフォース共催講演会, 12月, オンライン
- 大佐賀敦(2020) 秋田大学医学部附属病院における COVID-19 対策下のコミュニケーションツールの運用

Akita J Med 48 (Suppl) : 219~224, 2021

中央診療施設等

リハビリテーション科

部	長	島	田	洋	一				
准	教	松	永	俊	樹				
助	教	齊	藤	英	知				
医	員	齊	藤	公	男				
理学療法士		畠	山	和	利・渡	邊	基	起	
		皆	方		伸・高	橋	裕	介	
		大	倉	和	貴・須	田	智	寛	
		菊	地		耀・市	川	兼	之	
		坂	本	理々	子・長	谷	川	翔	
		宮	本	大	道				
作業療法士		千	田	聡	明・加	賀	美	開	
		田	中	祐	汰・林		正	喜	
		新	井	さ	やか				

著 書

- 1) 高橋裕介 (2020) 脊柱側彎症矯正固定術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 術後プログラム. メジカルビュー, 東京, pp. 46-48.
- 2) 高橋裕介 (2020) 成人脊柱変形症矯正固定術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 術後プログラム. メジカルビュー, 東京, pp. 53-55.
- 3) 高橋裕介 (2020) 人工骨頭置換術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 術後プログラム. メジカルビュー, 東京, pp. 178-180.
- 4) 高橋裕介 (2020) 骨盤骨切り術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 術後プログラム. メジカルビュー, 東京, pp. 202-204.
- 5) 畠山和利 (2020) 機能的電気刺激 (FES). 吉田英樹 (編) Crosslink 理学療法学テキスト 物理療法学 初版. MEDICAL VIEW, 東京, pp. 199-217.
- 6) 畠山和利 (2020) 症例集 機能的電気刺激 (FES). 吉田英樹 (編) Crosslink 理学療法学

テキスト 物理療法学 初版. MEDICAL VIEW, 東京, pp. 334-336.

- 7) 畠山和利 (2020) 半月板縫合術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 209-213.
- 8) 畠山和利 (2020) 前十字靱帯再建術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 217-220.
- 9) 畠山和利 (2020) 膝周囲骨切り術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 228-231.
- 10) 畠山和利 (2020) 膝関節周辺骨折. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 235-241.
- 11) 畠山和利 (2020) 人工膝単顆置換術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プ

- ログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 246-249.
- 12) 畠山和利 (2020) 人工膝関節全置換術. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 253-256.
 - 13) 渡邊基起 (2020) 肩関節拘縮に対する授動術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 65-71.
 - 14) 渡邊基起 (2020) 鏡視下肩腱板修復術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 72-79.
 - 15) 渡邊基起 (2020) 大腿骨近位部骨折骨接合術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 164-174.
 - 16) 渡邊基起 (2020) 人工股関節全置換術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 181-190.
 - 17) 渡邊基起 (2020) 足関節周囲骨切り術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 284-289.
 - 18) 渡邊基起 (2020) 創外固定術. 島田洋一他 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー, pp. 308-318.
 - 19) 大倉和貴 (2020) 骨粗鬆症治療. 島田洋一, 高橋仁美 (編) 整形外科術後理学療法プログラム 第3版. メジカルビュー社, 東京, pp. 324-326.
 - 20) 大倉和貴 (2020) 呼吸筋力の評価. 高橋仁美, 宮川哲夫, 塩谷隆信 (編) 動画でわかる呼吸リハビリテーション 第5版. 中山書店, 東京, pp. 142-144.
 - 21) 高橋仁美, 宮川哲夫, 大倉和貴, 岩倉正浩 (2020) 運動療法. 高橋仁美, 宮川哲夫, 塩谷隆信 (編) 動画でわかる呼吸リハビリテーション 第5版. 中山書店, 東京, pp. 199-225.
- 原 著 論 文
- A. 審査を経た論文**
- 1) Takahashi, Y., Saito, K., Matsunaga, T., Iwami, T., Tate, K., Miyakoshi, N. and Shimada, Y. (2020) Relationship between dynamic trunk balance and the mini-balance evaluation systems test in elderly women. *Int. J. Phys. Med. Rehabil.*, **8**, 10000534.
 - 2) Takahashi, Y., Saito, K., Matsunaga, T., Iwami, T., Kudo, D., Tate, K., Miyakoshi, N. and Shimada, Y. (2020) Relationship between dynamic trunk balance and the balance evaluation systems test in elderly women. *Progress in Rehab. Med.*, **5**, doi : 10.2490/prm.20200004.
 - 3) Tsukamoto, H., Saito, H., Saito, K., Yoshikawa, T., Oba, M., Sasaki, K., Sato, C., Akagawa, M., Takahashi, Y., Miyakoshi, N. and Shimada, Y. (2020) Radiographic deformities of the lower extremities in patients with spontaneous osteonecrosis of the knee. *The Knee*, <https://doi.org/10.1016/j.knee.2020.04.007>.
 - 4) Okura, K., Iwakura, M., Shibata, K., Kawagoshi, A., Sugawara, K., Takahashi, H., Satake, M. and Shioya, T. (2020) Diaphragm thickening assessed by ultrasonography is lower than healthy adults in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Clin. Respir. J.*, **14**(6), 521-526.
 - 5) Iwakura, M., Okura, K., Kubota, M., Sugawara, K., Kawagoshi, A., Takahashi, H. and Shioya, T. (2020) Estimation of minimal clinically important difference for quadriceps and inspiratory muscle strength in older outpatients with chronic obstructive pulmonary disease : a prospective cohort study. *Phys. Ther. Res.*, doi : 10.1298/ptr.e10049.
 - 6) 島田洋一 (2020) 機能的電気刺激の現状と将来展望. *Jpn. J. Rehabil. Med.* **57**, 255-261.
 - 7) 木村竜太, 島田洋一 (2020) Akita Trainer — 地方発の歩行訓練リハビリテーションロボット. *日本義肢装具学会誌* **36**, 189-190.
 - 8) 島田洋一, 本郷道生, 宮腰尚久 (2020) 高齢者の脊柱変形に伴う腰痛. *総合リハ* **48**(9), 827-834.
 - 9) 島田洋一 (2020) 第57回日本リハビリテーション医学会学術集會会長インタビュー ; 未来に羽ばたくリハビリテーション医学. *Jpn. J. Rehabil. Med.* **57**, 197-200.
 - 10) 小林義和, 巖見武裕, 小松 瞭, 齊藤公男,

- 島田洋一 (2020) 車いす自転車のクランク回転軸中心高さが低負荷時サイクリング運動の下肢関節モーメントに与える影響. 日本機械学会論文集 **86**, DOI: 10.1299/transjsme.19-00323.
- 11) 小林義和, 巖見武裕, 畠山和利, 斉藤公男, 島田洋一 (2020) 機能的電気刺激サイクリングにおけるボトムブラケット高さが下肢関節モーメントに及ぼす影響. 臨床バイオメカ **41**, 1-7.
 - 12) 大倉和貴, 高橋仁美, 塩谷隆信, 飯田有輝, 稲垣 武, 小川智也, 奥條朝子, 筒井宏益, 久野絵里, 宮崎慎二郎 (2020) 慢性閉塞性肺疾患患者に対する吸気筋トレーニングが身体活動量に与える効果—多施設による無作為化比較対照試験—. 理学療法学 **47**(6), 551-559.
 - 13) 須田智寛, 畠山和利, 千田聡明, 渡邊基起, 高橋祐介, 大倉和貴, 菊池 耀, 市川兼之, 木村竜太, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) Gait Exercise Assist Robot を用いて身体機能が大きく改善した一例. 秋田理学療法 **27**(1), 47-50.
 - 14) 松永俊樹, 宮腰尚久, 工藤大輔, 斉藤公男, 木村竜太, 井上純一, 千田聡明, 畠山和利, 渡邊基起, 島田洋一 (2020) 【脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療—最前線と未来への展望—】脊髄損傷者の機能的電気刺激による機能再建. 臨床リハ **29**(7), 658-664.
 - 15) 鈴木恒太郎, 畠山和利, 小松 瞭, 飯田純平, 巖見武裕, 島田洋一 (2020) 新たな三次元筋骨格モデルの開発と関節間力の精度検証. 臨床バイオメカニクス **41**, 243-247.
 - 16) 加賀屋勇気, 大倉和貴, 皆方 伸, 土田泰大, 阿部芳久, 塩谷隆信 (2020) 心不全に対する吸気筋トレーニングの有用性と安全性. 日呼ケアリハ学誌 **29**(1), 55-61.
 - 17) 佐々木雄大, 加藤雄樹, 五百川威, 水谷 隼, 中村拓成, 土田篤史, 近 良明, 大倉和貴, 柴田和幸 (2020) 高校生女子バレーボール選手における膝蓋腱症と無症候性膝蓋腱内超音波低エコーの有所見率に関する調査. 理学療法新説 **23**, 3-7.
 - 18) 宮下誉都, 加賀屋勇気, 古川 大, 大倉和貴, 長谷川弘一, 佐竹将宏, 塩谷隆信 (2020) 吸気筋トレーニングによる運動耐容能の変化—上肢・下肢エルゴメータの比較—. 日呼ケアリハ学誌 **28**(3), 406-411.
- B) 審査を経ない論文**
- 1) 斉藤公男, 島田洋一, 巖見武裕, 木村竜太 (2020) 【リハビリテーションにおけるロボット技術の最近の進歩】Akita Trainer を使用したロボットリハビリテーション. 脊椎脊髄ジャーナル **33**, 771-775.
 - 2) 斉藤公男, 島田洋一, 巖見武裕, 木村竜太 (2020) 【ロボットリハビリテーション最前線】ロボット技術と機能的電気刺激 (FES) の融合の可能性. MEDICAL REHABILITATION **256**, 47-52.

学 会 発 表

A. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 11 回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 5 月, 岐阜
 - 1) 松永俊樹, 工藤大輔, 斉藤公男, 千田聡明, 畠山和利, 加賀美開, 田中祐汰, 島田洋一 (2020) 片麻痺上肢に対する機能的電気刺激とロボット補助訓練併用効果の検討
2. 日本リハビリテーション医学会学術集会, 8 月, 京都 (Web)
 - 1) Matsunaga, T., Miyakoshi, N., Kudo, D., Saito, K., Kimura, R., Inoue, R., Chida, S., Hatakeyama, K., Watanabe, M. and Shimada, Y. (2020) Hybrid gait training of electrical stimulation and robot-assisted treadmill
 - 2) 松永俊樹, 工藤大輔, 斉藤公男, 千田聡明, 島田洋一 (2020) 上肢運動障害に対するロボット補助訓練効果の検討
 - 3) 斉藤公男, 松永俊樹, 齊藤英知, 工藤大輔, 千田聡明, 畠山和利, 渡邊基起, 宮腰尚久, 島田洋一 (2020) デジタル社会が描くリハビリテーションの未来像
 - 4) 斉藤公男, 松永俊樹, 齊藤英知, 工藤大輔, 千田聡明, 畠山和利, 渡邊基起, 高橋裕介, 加賀美開, 大倉和貴, 須田智寛, 菊池 耀, 宮腰尚久, 島田洋一 (2020) 内側半月板後根損傷に対する機能的外反装具の効果
 - 5) 畠山和利, 鈴木恒太郎, 木島泰明, 渡邊基起, 高橋裕介, 大倉和貴, 須田智寛, 堀場崇徳,

- 小松幹治, 巖見武裕, 斉藤公男, 三浦隆徳, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 寛骨臼形成不全症における中殿筋筋力増強の効果
- 6) 加賀美開, 千田聡明, 田中祐汰, 松永俊樹, 斉藤公男, 工藤大輔, 島田洋一 (2020) 座位保持装置の作成により運動発達を促した巨大臍帯ヘルニアの1例
- 7) 千田聡明, 松永俊樹, 加賀美開, 田中祐汰, 斉藤公男, 工藤大輔, 島田洋一 (2020) 3Dオブジェクト生成ソフトと3Dプリンターによる手関節背屈スプリントの複製
- 8) 皆方 伸, 佐々木正弘, 中村和浩, 堀川 学 (2020) 脳梗塞患者の病巣側一次運動野が有する Functional connectivity と運動麻痺の関係
- 9) 渡邊基起, 小松 瞭, 五十嵐悠, 早坂 渉, 鶴宮聖士, 畠山和利, 高橋裕介, 大倉和貴, 須田智寛, 野坂光司, 斉藤公男, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 創外固定器に装着する足底装具の最適な牽引ベルト数～慣性センサーを用いた適合判定～
- 10) 高橋裕介, 畠山和利, 渡邊基起, 大倉和貴, 木下和勇, 瀬戸 新, 湊 貴至, 湊 昭策, 斉藤公男, 齊藤英知, 島田洋一 (2020) 大腿直筋と中間広筋の筋厚による変形性膝関節症の骨格筋評価
3. 第93回日本整形外科学会学術総会, 6月 (Web)
- 1) 斉藤公男, 齊藤英知, 野坂光司, 木島泰明, 藤井 昌, 河野哲也, 宮腰尚久, 島田洋一 (2020) Double level osteotomy が膝蓋大腿関節に及ぼす影響
4. 第45回日本脳卒中学会学術集会, 8月 (Web)
- 1) 皆方 伸, 佐々木正弘, 中村和浩, 堀川 学 (2020) 脳梗塞患者の運動関連ネットワークの変化について
5. 第22回日本集中治療医学会学術集会, 3月, 愛知 (Web)
- 1) 大倉和貴, 工藤光生, 佐藤博昭, 高橋裕介, 畠山和利, 古屋智規, 奥山 学, 中永師士明, 島田洋一 (2020) 集中治療室における離床プロトコルの安全性に関する検討
- 2) 大倉和貴, 高橋裕介, 畠山和利, 工藤光生, 佐藤博昭, 古屋智規, 奥山 学, 中永師士明, 島田洋一 (2020) 集中治療室入室患者における握力による四肢筋力低下のカットオフ値の検討
6. 第26回日本心臓リハビリテーション学会, 7月, 福岡 (Web)
- 1) 大倉和貴, 高橋裕介, 工藤光生, 相原健志, 工藤尚也, 鈴木智人, 飯野健二, 渡邊博之, 中永士師明 (2020) 集中治療室における早期離床は急性心不全患者の歩行開始時期を早める
- 2) 高橋裕介, 大倉和貴, 相原健志, 工藤尚也, 田村善一, 山中卓之, 鈴木智人, 飯野健二, 渡邊博之 (2020) 運動負荷に伴う耳朶血流の変化パターン
- 3) 皆方 伸, 加賀屋勇気, 加藤拓哉, 佐々木正弘 (2020) リハビリテーション介入中に心不全の増悪を認めた脳出血例
7. 第33回日本創外固定・骨延長学会, 9月 (Web)
- 1) 渡邊基起, 小松 瞭, 五十嵐悠, 早坂 渉, 畠山和利, 高橋裕介, 大倉和貴, 須田智寛, 野坂光司, 斉藤公男, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 創外固定器に装着する足底装具の最適な牽引ベルト数
8. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 10-11月, 東京 (Web)
- 1) 千田聡明, 松永俊樹, 加賀美開, 田中祐汰, 工藤大輔, 斉藤公男, 島田洋一, 巖見武裕, 宮脇和人 (2020) 3Dオブジェクト生成ソフトと3Dプリンターによる筒状構造を持つ自具の複製
- 2) 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 秋田県における補装具費支給判定状況の検討
- 3) 安藤裕哉, 皆方 伸, 堀川 学, 佐々木正弘 (2020) 日常的に短下肢装具を使用する脳卒中片麻痺者の装具満足度調査
9. 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 11月, 京都市 (Web)
- 1) 皆方 伸, 畠山和利, 渡邊基起, 高橋裕介, 松永俊樹, 佐藤周平, 堀川 学, 佐々木正弘 (2020) 下肢運動麻痺の回復を認めた視床出血患者のCT所見での特徴
- 2) 丸山元暉, 堀川 学, 皆方 伸, 伊藤優也, 澄川皓恵, 佐々木正弘 (2020) 脳卒中患者における骨格筋の量的, 質的変化と運動麻痺との関係～歩行能力による比較検討～
10. 第54回日本作業療法学会, 9月, 新潟 (Web)
- 1) 田中祐汰, 千田聡明, 加賀美開, 久米 裕, 島田洋一 (2020) 退院後の自動車運転支援の

- 可能性～急性期病院入院中から退院後まで自動車運転支援をした脳梗塞の1事例～
- 2) 加賀美開, 千田聡明, 田中祐汰, 石川隆志 (2020) 道具を介した知覚と直接触れた知覚との違いの検討
 11. 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 11月, 神戸 (Web ハイブリッド開催)
 - 1) 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 秋田県における3年間の補装具費支給判定状況の検討
 12. 日本機械学会 2020, 9月, 名古屋 (Web)
 - 1) 三浦雅弘, 巖見武裕, 只野孝明, 木澤 悟, 寺田裕樹, 千田聡明, 島田洋一 (2020) 卓上型上肢リハビリロボットシステムの開発
 - 2) 堀場崇徳, 鈴木恒太郎, 三浦隆徳, 小松 瞭, 巖見武裕, 畠山和利, 島田洋一 (2020) 全身筋骨格モデルの製作と精度検証
 13. 生体医工学シンポジウム 2020, 9月, 弘前市 (Web)
 - 1) Tsurumiya, K., Hayasaka, W., Komatsu, A., Tsukamoto, H., Suda, T., Iwami, T. and Shimada, Y. (2020) Quantitative Evaluation Related to Disease Progression in Knee Osteoarthritis Patients During Gait
 - 2) 前田 海, 小松 瞭, 巖見武裕, 千田聡明, 島田洋一 (2020) CT画像を用いた手関節装具の最適化設計
 - (b) 地方会
 1. 第38回東北理学療法学会大会, 10月 (Web)
 - 1) 須田智寛, 畠山和利, 渡邊基起, 高橋祐介, 大倉和貴, 菊池 耀, 市川兼之, 皆方 伸, 坂本理々子, 長谷川翔, 宮本大道, 斎藤英知, 斉藤公男, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 変形性膝関節症患者における床上起立の所要時間と身体機能との関連性
 - 2) 菊池 耀, 畠山和利, 渡邊基起, 皆方 伸, 高橋祐介, 大倉和貴, 須田智寛, 市川兼之, 坂本理々子, 長谷川翔, 宮本大道, 斎藤公男, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 骨髄抑制期に人工呼吸器管理に至ったものの自宅退院できた慢性活動性EBウイルス感染症の一例
 - 3) 市川兼之, 畠山和利, 渡邊基起, 高橋祐介, 大倉和貴, 須田智寛, 菊池 耀, 松永俊樹, 島田洋一 (2020) 緊急手術後の高齢大血管疾患患者における退院時の栄養状態
 - 4) 皆方 伸, 畠山和利, 渡邊基起, 高橋祐介,

- 松永俊樹, 堀川 学 (2020) 視床出血例での下肢運動麻痺とCT所見との関係性について
- 5) 丸山元暉, 堀川 学, 皆方 伸, 伊藤優也, 佐々木正弘 (2020) 脳卒中片麻痺患者におけるPhase angleによる骨格筋の質の評価の検討
 2. 日本心臓リハビリテーション学会東北地方会, 12月, 仙台
 - 1) 高橋祐介, 大倉和貴, 工藤尚也, 相原健志, 鈴木智人, 飯野健二, 渡邊博之 (2020) 重度に身体機能が低下した心大血管疾患患者におけるBedside Mobility Scaleによる評価の試み
 - 2) 工藤尚也, 相原健志, 高橋祐介, 大倉和貴, 山谷麻実子, 佐々木郁子, 鈴木智人, 飯野健二, 渡邊博之 (2020) 心臓リハビリ再開が行動変容に効果的であった拡張型心筋症の一症例

(d) 講演会・フォーラム

国内

1. 秋田県理学療法士会 指定管理者研修会, 1-2月, 秋田市
 - 1) 畠山和利 (2020) 秋田県理学療法士会組織化の方向性と管理者について
2. 秋田県理学療法士会 領域別協会指定管理者研修, 2月, 秋田市
 - 1) 畠山和利 (2020) 管理者ネットワークの構築
 - 2) 渡邊基起 (2020) 早期からの充実した理学療法提供体制の構築
3. 第15回呼吸リハビリテーションサイエンスフォーラム, 10月, 秋田 (web)
 - 1) 大倉和貴 (2020) 呼吸筋トレーニングの現状と未来
4. 専門領域研究班主催「7 minutes Presentation—領域別トピックス—」, 7月, web
 - 1) 大倉和貴 (2020) 見直してみよう! 胸部X線画像
5. 専門領域研究班研究法webセミナー (導入編), 9月 (Web)
 - 1) 大倉和貴 (2020) ヒストリカルコントロール研究
6. 秋田県理学療法士会 専門領域研究班 7 minutes Presentation—領域別トピックス—, 7月, 秋田市
 - 1) 渡邊基起 (2020) 運動器疾患のレントゲン画像
7. 秋田の安全運転と医療のかかわり基礎セミナー, 1月, 秋田

(224)

中央診療施設等 リハビリテーション科

- 1) 田中祐汰 (2020) 他県での自動車運転支援の実情～北海道の支援を中心に～
8. 秋田県医療ニーズ発表会, 10 月, 秋田市
 - 1) 高橋裕介 (2020) 有酸素運動の動機付けアプリケーションおよびデバイス
9. 令和 2 年度秋田大学公開講座 慢性心不全とどうつきあっていくか, 11 月, 秋田市
 - 1) 高橋裕介 (2020) 心臓リハビリテーションについて
10. 秋田県作業療法士会令和元年度現職者共通研修, 6 月 (Web)
 - 1) 千田聡明 (2020) 実践のための作業療法研究

シンポジウム

国内

1. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 8 月, 京都
 - 1) 松永俊樹, 工藤大輔, 斉藤公男, 千田聡明, 畠山和利, 渡邊基起, 島田洋一 (2020) L300 フットドロップ・システム (NESS L300TM)
 - 2) 松永俊樹, 宮腰尚久, 工藤大輔, 斉藤公男, 千田聡明, 畠山和利, 渡邊基起, 島田洋一 (2020) NESS システムによる機能的電気刺激 (FES)
2. STROKE2020, 8 月, 横浜市 (Web)
 - 1) 畠山和利 (2020) 脳卒中片麻痺歩行支援に対する機能的電気刺激とその効果
3. 日本基礎理学療法学術大会, 12 月, 仙台市 (Web)
 - 1) 畠山和利 (2020) 運動器理学療法における基礎と臨床の接点

Akita J Med 48 (Suppl) : 225, 2021

中央診療施設等

漢 方 外 来

外 来 長 中 永 士 師 明
 副 外 来 長 蛇 口 美 和 (～3.30)
 廣 島 優 子・藤 嶋 明 子
 入 江 康 仁

総 説・解 説

- 1) Nakae, H. and Irie, Y. (2020) Relevance of Kampo in emergency and critical care medicine. *Tradit. Kampo Med.*, **7**, 63-68.
- 2) 入江康仁, 中永士師明 (2020) ウイルス感染症のパンデミックに対して漢方薬の果たす役割—スペインかぜから学ぶ—。日東医誌 **71**, 272-283.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Irie, Y., Nakae, H. and Fukui, S. (2020) Three mild cases of coronavirus disease 2019 treated with saikatsugekito, a Japanese herbal medicine. *Tradit. Kampo Med.*, **7**, 111-114.
- 2) Nakae, H., Irie, Y., Satoh, K., Kameyama, K., Kitamura, T., Furuya, T. and Okuyama, M. (2020) Traumatic asphyxia successfully treated with jidabokuippo. *Tradit. Kampo Med.*, **7**, 183-185.
- 3) Takayama, S., Namiki, T., Ito, T., et al. (2020) A multi-center, randomized controlled trial by the Integrative Management in Japan for Epidemic Disease (IMJEDI study-RCT) on the use of Kampo medicine, kakkonto with shosaikoto-kakikyosekko, in mild-to-moderate COVID-19

patients for symptomatic relief and prevention of severe stage : a structured summary of a study protocol for a randomized controlled trial. *Trials*, **21**, 827.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会, 11 月, 岐阜
- 1) 中永士師明 (2020) 救急領域における漢方治療の応用 (ランチョンセミナー)

(b) 地方会

1. 第 36 回日本東洋医学会東北支部学術総会, 11 月, 福島
- 1) 入江康仁, 中永士師明, 福井 伸 (2020) 漢方治療を行った COVID-19 患者 13 例の検討

そ の 他

講演

1. スキルアップ塾～漢方編～, 1 月, 京都
- 1) 中永士師明 (2020) 急性期領域に役立つ漢方薬
2. 予防医療臨床研究会, 1 月, 東京
- 1) 中永士師明 (2020) 鍼灸治療を含めたハイブリット型医療の展開